

講義のテーマ

経済学的アプローチから交通を取り扱った講義として「交通論」が提供されているが、本講義では主に「交通論」では扱われていないトピックについて講義する。交通は、土木系の学科でも工学的なアプローチから多くの研究が行われている。本講義では、経済学（・経営学）系と工学系のギャップを埋めるような内容を提供する。多くの大学生は経済学系あるいは工学系の一方しか学修しないことが多いと考えられるため、その意味でも「交通論」とともに本講義を受講することを推奨する。

The School of Business Administration offers Transport Economics ('Koutsuuron') module, which teaches transport from economic point of view, but this module mainly teaches topics not taught in 'Koutsuuron'. Transport also is studied from engineering point of view, for example in the Department of Civil Engineering. This module offers contents which bridge the gap between economic (or, business) and engineering approaches. Since most university students study transport from either economic or engineering approach, it is strongly recommended that students take both 'Koutsuuron' and this module.

講義の到達目標

- ・ 4 段階推計法，非集計モデル，需要予測の基本的な考え方について理解できる。
 - ・ 交通問題について経済学系と工学系の両方のアプローチから考えることができる。
- Students will understand basic principles of four step method, disaggregate model, and travel demand forecasting.
- Students will be familiar with both economic and engineering approaches to understanding transport problems.

講義の概要と計画

1. トリップ
 2. 需要予測の事後評価
 3. 4 段階推計法（生成，発生・集中，分布）
 4. 4 段階推計法（分担，配分）
 5. 非集計モデル
 6. 社会資本と交通
 7. 公共交通利用促進策
-
1. Concept of trips
 2. Ex-post evaluation of travel demand forecasting
 3. Four step method (production, generation and attraction, and distribution)
 4. Four step method (modal split and assignment)
 5. Disaggregate model
 6. Infrastructure and transport
 7. Promoting public transport usage

成績評価の方法

- ・ 期末試験
 - ・ レポート
 - ・ 講義への貢献
- A term exam
- A report
- Contributions to class discussions

成績評価の基準

レポートと期末試験で評価するが、レポート重視、試験重視などの複数の基準で評価し、学生にとって最も有利なものを採用する。講義への貢献は適宜加点する。詳しくは第1回目の講義で説明する。

Marking criteria

Marking is based on the report and term exam. Final marks are calculated based on multiple criteria (applying different weights to the report and exam) and students will benefit from the highest marks from these criteria. Additional marks will be provided for those who contribute to the class discussions. Further explanation is provided in the Week 1.

履修上の注意(関連科目情報)

「交通論」、平成23年度前期、平成24年度前期、平成26年度後期、平成27年度後期の「外国書講読(担当:三古展弘)」を履修していると理解しやすいでしょう。ただし、これらの科目を履修していなくても問題がないように講義を進めていく予定です。

平成28年度「市場システム特殊講義(交通計画)」の単位修得者は履修できません。

事前・事後学修

講義中に関連する文献を示しますので、それらを読むことが必要です。関連文献を読んでいることが前提となるレポートや期末試験にする予定です。

オフィスアワー・連絡先

講義中の質問を歓迎する。オフィスアワーは設けないが、電子メールによる質問や電子メールでアポイントメントを取った上での質問にも対応する。

参考 URL は下の通り。

<http://www.b.kobe-u.ac.jp/~sanko/lecture-j.html>

学生へのメッセージ

交通に関して興味のある学生は是非受講してください。本講義は臨時増設科目のため、来年度以降の開講は未定です。2年生の受講も歓迎します。担当教員自身の研究や担当教員が指導した卒業論文の内容についても紹介することを考えていますので、ゼミ選びの参考になると思います。

今年度の工夫

「交通論」では詳しく取り上げられていない話題について講義する。

担当教員自身の研究や担当教員が指導した卒業論文の内容について紹介する。

教科書

教科書は用いない。

参考書・参考資料等

講義中に指示をする。

講義における使用言語

日本語。

キーワード

交通 交通計画 4段階推計法 非集計モデル 需要予測